

交通安全協会バレーボール大会



8月20日、第23回交通安全ミニバレーボール大会が行なわれ、阿蘇地区交通安全協会各支部から12チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

この催しは、女性を対象に交通安全の意識を高めて、家庭や地域で啓発をしてもらおうと、同協会（岩下哲三会長）主催で毎年行われています。

試合前には交通安全に関する出題や標語の募集などがあり、参加者は皆、熱心に取り組みました。

【ミニバレーボール大会結果】

優勝 黒川支部 準優勝 宮地支部 第3位 波野支部

【交通安全標語表彰】

- ▶交通安全協会長賞
山部富美恵「悠々と 目配り 気配り 阿蘇の路」
- ▶阿蘇警察署長賞
佐藤ゆり子「してはだめ! わき見 居眠り 携帯電話」

建築士会が木工教室



近年木工で遊ぶことが少なくなった子どもたちに『木』に触れ合ってもらおうと、熊本県建築士会阿蘇支部（笹原博明支部長）の皆さんが、熊本県林務課の協力を得て、木工教室を開催しました。

8月23日、内牧小学校体育館で行われ、学童保育うちまきスマイルキッズクラブの子どもたち45人が参加しました。初めて握るノコギリや金づちを使ってプランターカバーを作り、木工が生活に必要な大切な技術であることもわかった良い経験となりました。

広瀬選手など 女子バレー元五輪選手が指導



女子バレーボールの元オリンピック選手、中島美代子さん（旧姓 広瀬）、西川樹里さん（旧姓 横山）、及び同監督の吉田国昭氏によるバレーボール教室が、8月6日から3日間、阿蘇体育館で行われました。

この教室は、阿蘇バレーボール練習会実行委員会（吉田国昭代表）が毎年、県内外の中学生・高校生を対象に行う夏季合宿（4回実施で延べ750人が参加）の中で実施されたもので、今年で3回目です。教室では熱心な指導が長時間にわたり行われたほか今年には練習後、場所をはな阿蘇美に移し選手と意見交換できる交流の場が設けられ、生徒たちは憧れの選手の話に目を輝かせていました。

山肌に扇の形。 狩尾原野で「扇切り」



◀ 60度の斜面での草切り作業の様子。

北外輪山（狩尾原野）に草を刈って作られ狩尾の名物となっている「巨大な扇」。毎年狩尾3区（坂梨正士区長）の有志の皆さんが、約一時間かけ山の急斜面に登り「扇切り」の作業を行っています。

今年も7月31日の朝6時から有志15人による扇切りが行われ、標高750mの緑美しい山肌に、縦48m、横68mの扇が見事に出来上がりました。

この扇切りの伝統は100年を超え、その間幾度か途絶えましたが17年前から地域おこしのため復興され継承されています。



2年ぶりの夏祭り!なみの高原納涼まつりと大阿蘇火の山まつり 大盛況!

昨年は口蹄疫の影響で中止された夏祭り。2年ぶりの開催となった夏祭りは、両イベント共に多くの家族連れなどが訪れ大盛況でした。



8月15日に行われた『なみの高原納涼まつり』は、雨の中での開催となりましたが、肥後ライダーやよさこいなどステージショーは大盛り上がり。毎年恒例となったヤマメのつかみどりでは、プールに放たれたヤマメを水しぶきを上げながら懸命に追いかける子どもたち。夏の思い出を刻みました。

また、8月19日・20日には、今年から住民総ぐるみで参加する新たな夏祭り『大阿蘇火の山まつり』が開催されました。19日はオープニングイベントの子ども樽神輿パレードを皮切りに、神楽や歌謡ショーが催され、終わりに2011発の花火が夜空を彩りました。20日は会社や団体、各地区から37団体、1100名が参加し総踊りが行われ、大盛況のうちに幕を閉じました。

来年の夏祭りもどうぞご期待ください!



①道の駅「波野」神楽苑が開駅20周年を迎え、記念式典が開催されました。(なみの納涼祭り) ②ヤマメつかみどりの様子。(なみの納涼まつり) ③ステージショーでは「よさこい」が披露されました。(なみの納涼まつり) ④子ども樽神輿パレードの様子。(火の山まつり) ⑤一新された「大阿蘇音頭」に合わせて踊りを披露。(火の山まつり)

枳区がコミュニティ助成事業で 地域活動備品を整備



地域社会の健全な発展を図ることを目的とした宝くじの助成金により、枳区が地域活動時に不足していたテー

ブルやイス、調理機器を公民館に整備しました。

この宝くじ助成事業は、宝くじの普及広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成を行うものです。

枳区では、地域活動備品の整備を行ったことにより、コミュニティ活動が一層活発になると期待されます。

「いつもありがとうございます」 散髪ボランティアに感謝



熊本県理容環境衛生同業組合阿蘇中央支部(西誠治支部長)では、毎年お盆前と正月前に阿蘇市の福祉施設入所者に対し、散髪ボランティア

を実施しています。8月1日には、みやま荘、たちばな園、あそん里に向き、約180人の入所者の散髪を行いました。

「時間を長くかけると入所者が大変だから、早く切るように心掛けています。」と、丁寧に散髪に臨む組合員の一人。散髪を終えた入所者はスッキリとした表情で大変喜ばれていました。